

国際ロータリー第 2790 地区（千葉県）第 8 グループ

YOKAICHIBA ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

R.I 会長

ホルガー・クナーク

（ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン RC 独）

第 2790 地区ガバナー

漆原 摂子（勝浦 RC）

第 8 グループガバナー補佐 大塚 榮一（八日市場 RC）

週

報

会 長 宇之沢 文 夫
副 会 長 川 口 京 子
幹 事 鈴 木 英 人

広報・公共イメージ

向上委員長

梅 原 佐 一

創 立 昭和 37 年（1962）1 月 13 日

平成 29 年（2017）韓国富平 RC との姉妹クラブ締結

例会日 毎週火曜日 12：30～13：30

例会場 千葉興業銀行八日市場支店（2 階）

事務局 千葉県匝瑳市八日市場イ 2571

TEL 090-8947-7851（幹事）

FAX 043-332-9055

<http://yokaichiba-rc.jp/>



No.2818

第 1 4 回例会

令和 2 年 11 月 17 日（火）

第 6 0 回ガバナー公式訪問（旭 RC 合同）

匝瑳市民ふれあいセンター



★役員懇談会前に漆原ガバナーにポールハリス四世を見ていただきました。



役員懇談会



公式訪問例会（オンライン併用）

- 進行：八日市場 RC SAA 関 鉦基
- 点 鐘 宇之沢文夫会長
 - 国歌 「君が代」 斉唱
 - ローターソング 「奉仕の理想」 斉唱
 - 来賓紹介
 - 会長挨拶 宇之沢文夫会長（八）
 - 幹事報告 両クラブ幹事
 - ガバナー紹介 第8グループガバナー補佐
大塚 榮一様
 - 卓話 国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原 摂子様
 - 謝辞 宇之沢文夫会長（八）
 - ニコニコ報告
 - 出席状況報告
 - 点 鐘 宇之沢文夫会長（八）

本日のお客様

- ・ 国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原 摂子様（勝浦）



- ・ 第8グループガバナー補佐
大塚 榮一様（八日市場）
- ・ 第2790地区幹事長
吉田 理愛様（勝浦）
- ・ 第2790地区幹事
佐久間淳宏様（勝浦）
- ・ 勝浦ロータリークラブ幹事
三上 直哉様（勝浦）
- ・ 第8グループガバナー補佐幹事
関 鉦基様（八日市場）
鈴木 勝也様（ " ）

会長挨拶・・・宇之沢文夫会長（八）



出席ご苦勞様です。ソーシャルディスタンスということで定員を縮小し、このような形で例会を開かせていただきました。別室で例会に参加の皆さん、感度はどうでしょうか？宜しく願い致します。



（別室でオンラインを実施）

本日、ガバナー公式訪問ということで漆原ガバナーにお越しいただきました。ガバナーには後程卓話をお願い致します。また、地区より吉田地区幹事長、佐久間地区幹事、勝浦ロータリークラブより三上幹事、来訪ありがとうございます。

いつもこの話題からになってしまいますが「新型コロナウイルス」です。今、第3波が来ているということです。4月、5月頃が第1波で緊急事態宣言が出されました。8月頃に第2波、そしてこの11月に第3波ということです。しかしながら我々の住んでいる東総地区はテレビで見るとようなグラフの上がり方は無いとは思いますが、毎日新聞を見て「今日はでているかな？」と気にしております。私が就任した頃は匝瑳市近隣で1名でもでたら例会を中止しようと決めておりました。今考えるとそれは少し過剰だったかなとも思います。それによって多くの行事を中止してしまいました。これからは様子を見ながら徐々に再開していこうと考えております。

今年はロータリー100周年ということです。旭クラブさんは60周年、私どもも次年度60周年を迎えます。60年は人間で言えば還暦です。成熟したクラブと言って良いと思います。これから先、今までの経験、培ってきたものをもとに東京ロータリークラブのように100周年を目指していきたいと思います。旭クラブさんとも長い付き合いですが、今後とも宜しくお願いしたいと思います。最後に、ロータリーは親睦が大切です。早く日常を取り戻し懇親会など親睦を深める行事をたくさんしていきたいと思います。

幹事報告

◆鈴木英人幹事（八）



◇例会場及び時間の変更

＊本日はございません。

◇会報受領クラブ名

＊館山ロータリークラブ

7月～11月分9通が届いております。

◇週報礼状

＊本日はございません。

＊活動計画書の礼状が梶原ガバナーエレクトより届いております。

◇その他

＊次回例会は夜間例会となります。点鐘18:30、場所は柿岡屋となります。出欠の返信をまだの方はお早めにお願ひ致します。

◆片山 慎一幹事（旭）より報告がありました。



ガバナー紹介

・・・第8グループガバナー補佐
大塚 榮一様（八日市場）



国際ロータリー第2790地区ガバナーの漆原摂子様です。ロータリー歴は2008年勝浦ロータリークラブ入会、2011-12年度クラブ幹事、2015-16年度にクラブ会長、2017-18年度に地区のロータリー研修委員、同年ガバナーノミニーデジグネート、ガバナー補佐インターン、ロータリー財団統括委員会統括副委員長、2018-19年度ガバナーノミニー、2019-20年度ガバナーエレクトを歴任されました。認証はメジャードナー、ベネファクター、ポールハリスソサエティー、米山功労者であります。宜しくお願い致します。

卓 話

国際ロータリー第2790地区

2020-21年度 ガバナー 漆原 摂子様
(勝浦 RC)



皆様、改めましてこんにちは。只今ご紹介いただきました、今年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦ロータリークラブ所属の漆原摂子と申します。本日はまだコロナ禍が収まらない中、ガバナー公式訪問例会を開催していただき、さらに多くの会員の皆様にお集まりいただきましたことに心より御礼申し上げます。

先程この例会に先立ちまして八日市場ロータリークラブ様、旭ロータリークラブ様のそれぞれの役員様と懇談会をさせていただきました。どちらも会員数が39名、女性会員の割合も1割前後ということでどちらも非常にバランスの取れたクラブだとお見受けします。活動内容についても先程宇之沢会長からもありましたようにコロナ禍でなかなかエンターテイナーなどは実施できないという厳しい状況ではありますが、その中でも繋がりを続けて活動をしていらっしゃるというところに大変感銘を受けた次第でございます。それからまた、こちらに関しましてはクラブ協議会でも話題になろうかと思いますが、今年の7月に地区より発表させていただきました次年度7月より施行予定の当地区のグループ再編でございます。こちらに関しましては色々なクラブからご意見をいただいたり、公式訪問の中でもご質問等をいただいております。当地区第2790地区は1997年には4337名の会員がおったわけですが、それから右肩下がりに会員数が減り、今年度は2800名を切ってしまうという、最盛期の65%までに減ってしまいました。ところが当時の14グループのまま、そしてそれぞれのグループ内の会員数、あるいはクラブの数にも偏り、ばらつきが出ておまして、グループを担当するガバナー補佐のお仕事にも不均衡が生じているということがありました。加えまして、2002年より国際ロータリーがすべての世界中の地区に義務づけましたDLP（地区リーダーシッププラン）こちらにおきましては、色々な項目がありますが、地区内クラブのサポートのために地区は効率の良いリーダーシップを発揮しなさいということで、その項目の一つに、ガバナーエレクトがガバナー補佐を任命し、担当クラブをいくつか決め、そのサポートに当たるということが実は2002年から義務づけておりました。ところが当地区はそれを実施しないまま本日まで至っております。そのような経緯でグループの平準化、ガバナー補佐の任命方式が当地区の課題でした。昨年のうちにこれらのことが決定され、昨年の終わりに地区の戦略計画委員会に上申され、それが決定し、7月に皆様にご案内した。という経緯につきましては皆様の一部につきましては大変唐突なことだったと地区としましてもお詫びを申し上げる次第です。こちらにつきましても後ほど卓話でもでてきます、このコロナ禍ではありますが、ホルガー・クナーク会長がおっしゃられる「今こそ、こんな時だからこそ」ロータリー改革の時でございます。こちらのグループに関しましては再編となりますが、これを新しい出会いの扉と捉えていただき、どうかご理解いただきご承知ください。 それでは卓話に移らせて

いただきます。



1. RI 理事会 今年度強調事項

- ①新型コロナウイルスパンデミックに対する奉仕活動への取り組み。
 - ②会員維持に努める。
 - ③オンラインミーティングに馴染もう。
- ＊7つ目の重点分野 「環境の保全」（2021年7月1日より実施）

直近開催のRI理事会において今年度の強調事項がいくつか発表されましたが、特にRI理事会とロータリー財団管理委員会は従来の重点分野に加え、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。先程の懇談会の中で旭ロータリークラブ様は既に委員会の中に環境保全委員会というものをお作りになっていらっしゃるということで大変先見の明がありがたかったです。この新しい重点分野はグローバル補助金によって実施される奉仕プロジェクトも新たな対象になりますし、この分野を専攻して海外の大学あるいは大学院で学びたいという方々への奨学金授与の対象となります。これの実施は来年の7月一臂からとなります。詳細がわかり次第皆様に通達申し上げます。また、皆様ご周知の通り、つい先日WHOはナイジェリアの野生株ポリオフリー宣言をいたしました。大変喜ばしいことでございます。そしてこの活動に大きく貢献したとして、アメリカのTIMEという雑誌がございますが、この雑誌で毎年10月に「世界で最も影響力のある100人」を選出していますが、このうちの1人にナイジェリアのバスター・ガバナーであり、インターナショナルポリオプラス委員会のメンバーでもある、ツンジ・フンショ氏が選ばれました。ポリオ根絶の取り組みによってこの栄誉を得たロータリー会員はこのフンショ氏が初めてでございます。

2. 国際ロータリーのテーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは
機会の扉を開く

- * 厳しい状況下だからこそ、今までになかった機会の扉にチャレンジ、ロータリーにおいては変革のときであり、未来に備えられるように。
- * 扉の向こうの様々な機会・チャンス求めて、個人でもクラブ単位でも、そのような扉をどんどん開いてゆきましょう。

それでは改めてご紹介させていただきます。今年度 RI 会長のホルガー・クナーク氏です。大変長身な方で、鼻眼鏡が大変ユニークな方ですが、ビデオメッセージがございますのでご覧ください。



さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大切にしている」とコメントされました。大変日本の事情に精通されているなどお見受けします。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、一つの大事な定義と考えます。そしてロータリーが大切にしている親睦、これをベースにビジネス倫理や社会奉仕に対する価値観を共有できるような若い会員を引き入れて活動することは未来への基盤となるとおっしゃっています。コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそロータリー再生の時、改革の時であるとおっしゃっています。コロナと共生し、新しい日常に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。また、クナーク会長は特に、ガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにとおっしゃいました。これは今年の1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催されました、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際、発表されたものです。その時はまだ、コロナがこんなにも世界的にパンデミックになるとは誰も思っていないで

したので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、RI 会長の指示でございますので一つ一つを見ていただきたいと思います。

3. クナーク会長からの公式訪問でのメッセージ (2020年1月発表)

①新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。ロータリーの正会員に入るには年齢的にも仕事の面でも会費納入の面でもまだ余裕がない30代から40代前半をターゲットとしたローターアクトクラブの設立、これは地域の活性化に繋がるのではないのでしょうか？またこのような若い年代を基盤としたクラブは地域社会において、周囲により大きなインパクトをもたらす、賛同して参加したいと思う人が増える、即ち、参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか？この2つは RI の4つの行動計画に含まれております。

②すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これはここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために退会を余儀なくされている会員も国内外で微増しております。有効なワクチンが出来るまではコロナと共存せざるを得ません。そのような中だからこそ、クラブは少なくとも年に1回は自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブ存続そして活性化を考えなければいけないと思います。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会においてクラブの現在、そして未来を考えていただきたいと思います。会員お一人お一人がクラブの将来を真剣に考える、即ち、参加者のクラブへの積極的なかわりを促すという、RI の4つの行動計画の一つですが、これに繋がります。

③新会員を慎重に選びましょう。

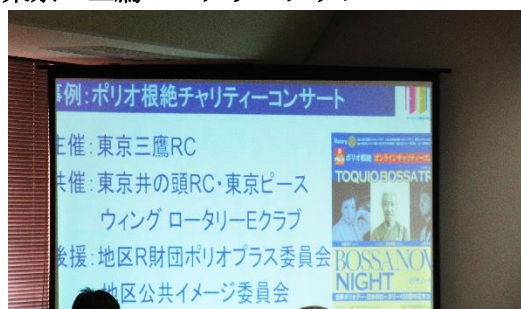
クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブの合った会員を慎重に選び入会していただき、そしてお入りになったら、一生涯ロータリーを辞めないで続けていただけるような周囲の配慮が大切だとおっしゃっています。まずは既存の会員を大切にしようということです。ロータリーは毎年世界中で入会した人数とほぼ同じ数が自然減も含め退会している状況です。しかも現在はコロナ禍により、会員

のクラブ離れは平時より微増と思われます。どうかまずは今の大切なお仲間を失う事の無いようにお願いを申し上げます。

④10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

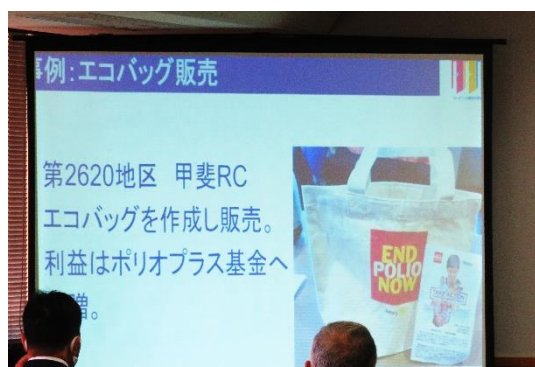
冒頭にも申し上げましたが、ナイジェリアが野生株ポリオフリーとなりまして、現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの二国だけとなりました。しかしコロナ禍のためにワクチン接種が従来通りできず、発症者も微増しています。一方でロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを現在は各国の医療機関にコロナ感染拡大の防止に利用してもらっています。つまり、ポリオ根絶のために私たちが創り上げたノウハウが現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく役立っております。RI4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトをあたえています。世界ポリオデーは毎年10月24日でございます。今年はコロナ禍のため、色々な工夫を凝らしてバーチャルなイベント、あるいは3密を避けたイベントを実施されておりますが、国内の例をご紹介します。

*東京・三鷹ロータリークラブ



チャリティーコンサートをYouTubeで配信

*山梨県・甲斐ロータリークラブ



*第2640地区で実施



4. 地区活動方針

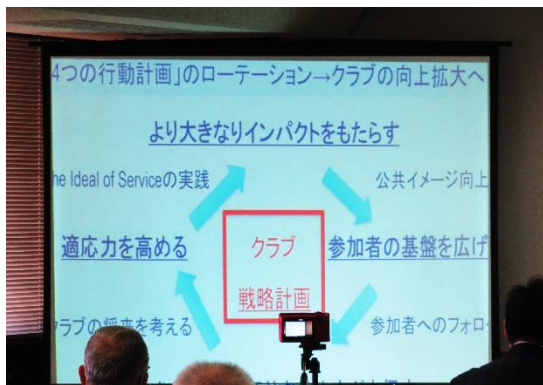
地区スローガン 「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

RIの4つの行動計画 「より大きなインパクトを与える」「参加者の基盤を広げる」

「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」

それでは今年度地区活動方針についてご説明いたします。4月29日にYouTubeでの地区研修協議会でもお話いたしました。今年度は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、即ち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育む事」これに立ち戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。奉仕の理念、英語では The idea of service つまりサービスという考え方、これを優しく解説したのが、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリー氏です。「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。これを実践するということは先程からお話に出ております、RI4つの行動計画のローテーションのスタートとなります。奉仕の理念「他人のためになることをする」これの実践というのは、周囲の人により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のロータリーへの公共イメージの向上の結果、賛同して仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がるはず。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることでその参加者はやりがいを感じ、地域に色々なボランティア団体があったとしてもロータリーを選んでくれて、さらに積極的に関わってくれるのではないのでしょうか。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通じてクラブの現状やロータリーの過去、現在を学んでいただき、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応できるよう、適応力を高め、そして次の The idea of

Service の実践に取り組むことが大切でございます。依然コロナ禍のため、通常のような行動が取りづらい状況ではございますが、この様な時だからこそ、クラブの戦略計画をお立ち上げになり、この4つを展開していただくことで、次々と機会の扉を開くことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上、拡大するのだと考えます。クラブの会長さんにおかれましては、リーダーシップを発揮していただき、この4つの行動計画を展開する準備をお願い申し上げます。クラブの各委員長さんにおかれましては、この図の中でそれぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートができるかをお考えいただけますようお願い申し上げます。



そしてクラブロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会の委員長の皆様におかれましては、他人のためになることをするための寄付の推進、世界で良いことをするための人材育成に御尽力いただければと思います。

5. 不変の基本理念

ロータリーの目的 4つのテスト 5大奉仕部門
5つの中核的価値観（奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップ）

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」

さて、これまでロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや適応力を高めることの大切さ、未来への基盤となる多様な若い人たちを受け入れましょうと申し上げてまいりました。一方RIはロータリーの基本理念は不変であると言い続けております。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまりロータリアンは、事業や専門職及び地域社会のリーダーであることには変わりありません。ロータリーの基

本的信条である「ロータリーの目的」にも変更はありません。ロータリーの最もいい気な特徴のひとつである「4つのテスト」あるいは5大奉仕部門にも変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは標準ロータリークラブ定款に違反しない限り、そのクラブの伝統や個性、地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがよりいきいきとするために、中・長期的戦略計画をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作る事が大切だと考えます。私達ロータリアンが目指すビジョン声明があります。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」

これがロータリーのビジョン声明でございます。先程申しました、ロータリーが守り続けている不変のものがああります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観であります。これを基盤に4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的なかわりを促す、適応力を高める、この4つを実践することでロータリーのビジョン声明の実現に繋がるものと信じております。何はともあれ、ロータリーは人づくりと良く言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前にならず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか？主役となるクラブを成り立たせているのは会員お一人お一人でございます。会員個人が家庭や事業、活動で有用な存在となり、ロータリーの5大奉仕部門においては、仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指す事、ロータリークラブだからこそ、そのような人づくりが可能だと思います。私自身としても「ロータリーってなに？」と問われた時には「私自身です」と胸を張ってこたえられるようなそんな人間を目指しております。

ご清聴ありがとうございました

謝 辞・・・宇之沢文夫会長（八）



漆原ガバナー、ありがとうございました。我々のロータリー活動の指針となる卓話でした。RI会長のビデオメッセージにもありましたが、人間は居心地の良い所に居がちですが、前進するためにはやはり変えていかなくてはいけないと思います。半分近くが過ぎますが健康に留意されまして、ご活躍されることを祈念いたします。ありがとうございました。

ニコニコボックス報告・・・鈴木淳一親睦委員長



- ◇鈴木 勝彦君 ガバナーをお迎えして
- ◇栗田 壮一君 ガバナー公式訪問ご苦労様です
- ◇井上 峰夫君 ガバナー公式訪問ご苦労様です
良いことがありました
- ◇片岡 正勝君 お世話になります
- ◇大塚 榮一君 ガバナー公式訪問ご苦労様です
- ◇柏熊 均君 いい天気になりました
- ◇青木 真人君 ガバナー公式訪問ご苦労様です
- ◇平野 正憲君 ガバナーをお迎えして
- ◇伊藤 達裕君 漆原ガバナーをお迎えして
- ◇宇野佐太夫君 漆原ガバナー公式訪問ご苦労様
です
- ◇小川不二夫君 公式訪問ご苦労様です
- ◇林 咲江君 公式訪問ご苦労様です
- ◇宇之沢文夫君 出席ご苦労様です
漆原ガバナー公式訪問ご苦労様
です
- ◇鈴木 英人君 ガバナーをお迎えして
- ◇川口 京子君 ガバナーをお迎えして
- ◇菱木 智仁君 公式訪問ご苦労様です
- ◇梅原 佐一君 ガバナー公式訪問ありがとうございます

- ◇鈴木 勝也君 ガバナーをお迎えして
- ◇鈴木 淳一君 漆原ガバナーをお迎えして
- ◇熱田 寛明君 お世話になります
ありがとうございます
- ◇小川 英毅君 ガバナー公式訪問ありがとうございます

42,000円
累 計 331,000円

◆旭ロータリークラブ親睦活動委員会より報告がありました。

出席状況報告・・・片岡正勝出席委員



項 目	会員総数	出席数	出席率%
本日 11/17	39 名	28 名	79.5%
前回 11/10	39 名	25 名	69.2%

◆旭ロータリークラブ例会運営委員会より報告がありました。

◎出席免除者数 6 名

○点鐘 宇之沢文夫会長

クラブ協議会

進行：旭 RC 幹事 片山 慎一

1. 開会宣言 旭 RC 会長 飯塚六兵衛



2. ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2790 地区ガバナー

漆原摂子様



皆様、引き続きお残りくださいまして感謝申し上げます。今回の協議会は今までとは違い、私が皆さんにお聞きしたい事を主にガバナー補佐を通して担当の方をお願いをしております。長時間ではございますが、どうぞよろしくお願い致します。

3. 議 事 進行：旭 RC 会長 飯塚六兵衛

【第 1 部】クラブ戦略委員会について

旭 RC 会長 飯塚六兵衛



クラブ戦略計画については 2 月に行われた PETS で聞きました。クラブ数、会員数の減少を課題に考え、5 年後 10 年後のクラブの在り方を考え、クラブ戦略計画、中長期計画を作成しましょうということでした。趣旨は十分理解し、必要性を感じたところではございますが、現状では改めて委員会をたてなくても夜間例会だとかで会員同士が

必ず将来どうしようか。という話は出ておりました。その内容をペーパーに残すということとはしておりませんでしたので、今年度はクラブに戦略計画策定委員会を設置しました。クラブに委員会を設置するには細則の変更がありますので、4 月の理事会に変更したものをだしました。修正を 5 月の理事会に出し、会員に周知、5 月中に細則を変更したうえで委員会を設置しました。

その中で参考になったのは PETS でのグループディスカッションでの千葉ロータリークラブの戦略計画です。2015 年から 2020 年の 5 年間で計画し、1 年ごとに改訂をしているそうです。ビジョンが 3 つあり、1 つは元気を与える千葉ロータリーになろう。2 つ目、地域社会に感謝される奉仕活動を継続しよう。3 つ目、世界に繋がる千葉ロータリーになろう。大目標が 3 点、中長期の具体的な目標は 2021 年までに 100 人クラブを目指す。70 周年、75 周年事業について検討する。地区における活躍できる人材の発掘・育成を行う。会員自らが社会奉仕活動を行い、地域社会に貢献すること。会員各自の職業活動の提供を通じて職業奉仕の原点について話し合おう。クラブリーダーシップの話合いと実践。クラブ活性化のための研修プログラムを作成し、実施する。というものです。これが大変参考になると思い、旭クラブでもこのようなクラブになったら良いなというものを作ればと思います。

八日市場 RC 会長 宇之沢文夫



八日市場ロータリークラブでは今まで戦略計画というものがあると聞いたことはありませんでした。無かったのか、私が知らなかったはわかりませんが、2 月の PETS にて聞きましてクラブに持ち帰りまして会員に話をしました。地区でそのようなものがあるならやってみようということで、戦略計画委員会を作る事が理事会で承認されました。しかし、委員会の構成をどのようにしたらよいかパスト会長に集まっていただきまして 2 回ほど会議をしました。戦略計画委員会を作ったものの目標が無くてはいけない、目標を何にするかはまだ決まっていません。次年度 60 周年もありますので、今年で決めてしまおうということではな

く、60周年に向けて決めています。

【ガバナー講評】 国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原摂子様



まず、飯塚会長ありがとうございました。戦略計画策定委員会をお作りいただき細則などを見なおしていただいたということは大変大きなことだと思います。たとえを申しましたが、クラブ独自の細則を作ることが大切でございます。これはクラブのビジョンに繋がります。

宇之沢会長におかれましても、戦略計画委員会を理事会にて承認されたということでありがとうございます。私の勝浦ロータリークラブでも戦略計画委員会がございませんでした。去年あわてて準備委員会を作り、今年になって正式に立ち上げ、今稼働している状況です。私共がやったのは会員の満足度アンケートです。これはマイロータリーからダウンロードできます。それを実施し、おおまかなビジョンを作成に入り、来年中に策定することになっています。自分のクラブが5年後、10年後どうなっているか、会員皆様のお気持ちを図りながらいかにしてビジョンなり活動具体案を制定していただければと思います。

【第2部】クラブの利点・欠点
旭RC副会長 大門忠兵衛



私は震災の年の9月に入会をし、今年で入会9年になりました。利点・欠点ということですが、個人的に言えば色々な役割です。初年度にSAAを右も左もわからずやり、色々な役をすることによって自分も色々覚え、コミュニケーションも取れると思います。また、例会に出れば先輩方もいる

し、旭クラブにはゴルフ同好会、野球同好会もあり、それを通じ皆さんとの親睦も図れます。ロータリーといえますと歴史も重く、仲間意識も大変あります。欠点というか課題ですが、会員数の減少です。しかし会員を増やすというのが大変難しいです。平均年齢も高く、若い人材を増やすということが課題かなと思います。やめてしまった人に対しても数年後は事情が変わっていると思いますのでまた入っていただければと思います。

八日市場RC直前会長 小川不二夫



私が入会する以前は1業種1者ということでしたが、私が入会するときはそれが無くなり、入会させていただきました。良い所は入会順にうまく回っているということだと思います。財団への寄付や米山への特別寄付が毎年数名行っているということだと思います。

欠点は見当たりませんが、課題は新入会員が少ないということだと思います。大塚ガバナー補佐が会長の時がちょうど50周年を迎えましたが、その時は50周年を50名でということでその年が1番多かったのかなと思います。出席率もだいたい60%台でコロナ禍のなかでなかなか難しいのかなと思います。

【ガバナー講評】 国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原摂子様



利点・欠点について両クラブの会員様ありがとうございました。まずは旭ロータリークラブ会長エレクトの大門さん、ゴルフや野球で親睦を図られ、初年度からSAAをなさったということで自

分もそれをお聞きしていて、入会当時のことを思い出しました。私が入会したのは12年ほど前ですが当時は私が入会するまで女性会員はゼロで会員数は40名程でしたが女性は私1人でした。年齢も若い方だったのであまり馴染めず、最初は休みがちの大変な不良会員でした。ところがすぐに45周年の周年行事をやるということで一致団結し、役を与えられることで面白くなってそれ以降はすんなりと仲間に入っていく事ができました。先程の卓話の中でもありましたが、欠点の所で会員数の維持が大変だとおっしゃっていましたがやはり何か役を与えるとやる気になるのかなと思います。退会者にも再度アプローチをとのことでしたが、成田コスモポリタンの事例ですが、現在73名の会員がいます。それとは別に色々な事情で退会されてしまった方を会友というかたちで名簿に載せています。会員ではなく会友なので会費などはございません。もちろん会員数にもカウントされません。ただ細則の中でゴルフや野球に参加したければ実費を払えば参加できるという受け皿を作っています。そのような形で繋がり続けるというのも一つの例なのかもしれません。

八日市場ロータリークラブ直前会長の小川さん、ありがとうございます。入会順で会長などの役がきちんと回っているということ、財団などの寄付もきちんとやってらっしゃること、前にもお邪魔したことがあります。きちんとしたクラブだなと思います。欠点が特段見当たらないというところも楽しい親睦活動をバランスよくやられていると思います。例会出席率が低いということはやはりプログラムに工夫をし、皆さんに出ていただけるようなプログラムが大事なのかなと思います。とは申しまして、なかなかお仕事の都合で出られない方もいらっしゃると思います。夜間例会が復活したときには月に2回夜間例会を入れてみるなどのテストを実施し出席率が上がる方法を考えてみるのもよろしいのではないかと思います。



【第3部】私のロータリーモーメント (心に残る体験 各5分)

旭 RC 会計 木内 健一



私のロータリーモーメントは何と言っても甲子園で野球ができたことです。しかも3年連続です。今日来るとき調べたのですが、千葉県で3年連続甲子園に出場した高校は1校ありそれは銚子商業です。選抜です。選抜で昭和47年から49年、たぶん飯塚会長の世代だと思います。夏の大会は1校もありませんでした。私は小学校の時、少年野球をしておりまして一応甲子園を夢に見る少年でした。それがこの歳になり、まあお金の力ですが夢が叶いました。旭ロータリークラブの野球同好会の発足ですが2016-17年度に匝瑳市の還暦野球チーム「匝瑳フレンズ」に参加していた、先輩会員が、ロータリークラブにも野球同好会を作ろうという呼びかけがありました。偶然、会員の多くが子供の頃から多少なり野球経験があり、好きな人が多かったこともあり、旭ロータリークラブ野球同好会が発足されました。とは言っても、我が旭ロータリークラブ野球チームはピッチャー、キャッチャーは還暦で60歳でございます。チームの平均年齢は発足当時、59.9歳です。約60歳です。今だから言いますが、本当に試合になるのか不安でした。たしか初めての練習試合はグダグダだったような気がします。しかし、負けず嫌いなのかはわかりませんが、毎週金曜日、甲子園に向けて2時間程度練習を行いました。初めての甲子園の対戦相手は大阪の大阪城北というチームでした。高校野球では大阪はPL学園とか大阪桐蔭とか本当に強豪校がいます。私も大阪と聞いた時、これはやばいな。と思いました。甲子園は本当に聖地でした。芽が詰まった芝生、きめ細やかな土、どこをとっても申し分ない球場でした。また、高校野球でなじみのある、ウグイス嬢が名前を呼びあげてくれます。50歳を超え「木内君」と呼ばれるのは少し違和感がありました。観客は前後の試合の50人程度ですが、とても幸せな時間でした。試合結果は負けてはしまいましたが、とても素晴らしい試合でした。旭チームはほとんど全員が出場することができました。2年目は北海道の静内ロータ

リークラブ。このチームは野球経験者ばかりではなく、平均年齢は45歳位でした。本当に隙の無いチームで0対3のパーフェクトゲームで負けてしまいました。最後に審判に言われた「ナイスゲーム」という言葉が印象に残っています。3年目は奈良県の橿原ロータリークラブで、13対3で勝ち、念願の甲子園初勝利を勝ち取ることができました。今年も銚子商業を超える4年連続の参加申込をしましたが、残念ながらコロナウイルスの影響で中止になってしまいました。甲子園大会は野球だけでなく、試合前夜に行われる前夜祭も楽しみのひとつです。チーム紹介の時はそれぞれの趣向を凝らしたクラブや地域のPRタイムがごさいます。また、参加チームのロータリー旗とおみやげの交換など、非常に和やかな懇親の場となっています。

そして第2790地区のクラブリーグ戦にも2018年度から参加しております。つい2週間前にも事実上の決勝戦という漆原ガバナー率いる勝浦ロータリークラブに2対3でサヨナラ負けを喫してしまいました。初めはどうなることかと思っていましたが、旭チームは結束力があり、先輩方も本当に勝負強く、改めて関心をしました。試合の後には勝っても負けても地元へ帰り、反省会と称してお酒を飲みながら懇談会をしております。この時間は例会では話せない話題をおかずにメンバーとロータリーについての話をする時間となっています。この時間こそがロータリークラブに入会して仲間を作り、友好を深める場であり、何にも代えがたい時間のごさいます。最後になりますが、旭ロータリークラブに入会し、甲子園に行けたこと、野球を通じて素晴らしい先輩、後輩に巡り会えたことが私もロータリーモーメントです。

八日市場 RC 副幹事 鶴澤 宜広



ロータリークラブに入会して良かった事、楽しかった事として発表させていただきます。ロータリークラブに入会して9年になります。入会してすぐに50周年行事が行われ、盛大なパーティーと韓国姉妹クラブのロータリアンとの交流を通じて世界観を広げることが出来ました。ロータリークラブに入会して何よりも良かったのは、たくさ

んの友達ができたことです。3万数千人の小さな町でも友達と呼べる人は少ないものです。ロータリークラブには親睦会があり、クリスマス会があり、旅行を通じて良い仲間作りと思い出がたくさんできました。また、八日市場クラブにはゴルフ会があり、皆さんと様々なゴルフ場でプレーをしてゴルフのマナーや楽しみ方を教えていただきました。僕にとってのロータリーは親睦と奉仕であります。親睦でたくさんの人と出会い、楽しむことです。目の前の人を喜ばせたい、この街をより良くしたいといった奉仕の精神も自然と出来るのではないかと思います。ロータリークラブの活動とは異なるかもしれませんが、経営や自己啓発の学びは倫理法人会などがあります。こちらはわかりやすい勉強ができます。それに比べてロータリークラブの学びはわかりにくく、先輩方も後輩に教えることに苦労していると感じるところがあります。今ロータリーに必要なのは仲間作りです。仲間と世界観を作りあげること。それが奉仕の精神に繋がっていくように思います。またそれが心豊かになる学びとなるはずだと思いました。これからはクラブの皆さんと楽しんで世界観を広げて行ければと思います。もう一つ良かったことは同級生とまた色々できたことです。自分のクラブにも2人同級生がいます。旭ロータリークラブにも同級生がいて、その皆さんと若い頃を思い出しながらゴルフをしたり、同級生だと色々なことを話したりできるのでこういった仲間がどんどん増えていくといいなと思います。最後にいつまでも笑顔の絶えない八日市場ロータリークラブ・旭ロータリークラブであってほしいと思います。

【ガバナー講評】 国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原摂子様



今回このクラブ協議会でお願いした中でこの「私のロータリーモーメント」を一番楽しみにしておりました。ロータリーで新会員を増やそうとするときにやはり「ロータリーってなに？」と聞かれたときに1905年にシカゴでポールハリスが作ったという話をしても良いのですが、そういう話ではなく、自分がクラブに入って良かった事、楽し

かった事、心に残ったことをご自分の言葉でお話頂くこと、それが新会員に対する一番の殺し文句になるのではないかと私自身信じています。私もいつロータリーに興味がある方にお会いするかわからないので準備をしている次第です。旭さん、八日市場さんどちらも親睦も素晴らしいクラブですし、そのような方はいらっしゃらないと思いますが、「このところロータリーが面白くないな、モチベーションがさがっているな」という会員さんに対し、自分の心に残った体験、楽しかった事をシェアいただくことで思いとどまっていただくことができるのではと思います。

甲子園のお話をしていただきました木内さん、うちのクラブも昨年から野球リーグに参加させていただいております。今日きている2人もバリバリのキャッチャーと守りでやっております。野球に去年加盟させていただいて、40代の若手会員の増強に確実に繋がりました。親睦と奉仕をバランスよくやっていく事がロータリーの醍醐味なのかなと感じました。野球を通じて友好を深めたいとお伺いすることができました。

がばな

八日市場の鵜澤会員におかれましては、入会されてから色々な行事があり、世界観が広がった、お友達が増えたということでしたが、この歳になってお友達を作るというのはなかなか難しいものですが、ロータリーの友情というのは自然にお友達になるという感じがします。学びに関してなかなか難しいということですが、私も入会した当時、職業奉仕とはなんなのかなど悩みました。ある山形のバスターガバナーに入会して5年位の頃に相談したことがありました。悩んだときはシンプルに考えなさいと言われました。ロータリーを易しく理解するといいますが、奉仕の理念を実践するということは「他人を思いやり、他人のためになることをする」と置き換えて私は捉えております。難しく考えず易しく考え、自分を磨きながら、個人でもクラブ単位でも他人を思いやって他人のためになることをする。これがロータリーを一番簡単に表せると私は思っております。あまり難しく考えすぎないようにしていただければと思います。



【質疑・応答】

旭ロータリークラブ 飯塚会長

・このところの地区の在り方について・

来年度より現在グループが再編となり、我々にとってグループの再編はそれほど違和感があるものではありません。ただ、決まったのが地区の戦略委員会ということで我々クラブに周知されていませんでした。ガバナー月信などで途中の経過報告などがあれば良かったのかと思います。それに伴うガバナー補佐の選出。従来であれば輪番制で選出しておりました。現9グループの小見川ロータリークラブさんで推薦者がいらっしゃるということで、では小見川さんから大塚ガバナー補佐とも話をしておりました。しかしガバナーエレクトからクラブからの推薦者が補佐になるとは限らないというお話が地区大会でありました。ロータリーも会員数が減るなど色々厳しい時代で変革の時代であり、ガバナー補佐の役割も変わってくるのでそういった意味で変革したいという思いだと思います。先程ガバナーが入会間もない周年行事で役割を与えられ、ロータリーに対する意欲を高めたとおっしゃっていましたがまさに「ロータリーは機会の扉を開く」で立場を与えられれば、その人間も成長し、変わるものだと思います。そうはいながらその人を良く知っているクラブの推薦がありながらガバナーエレクトが指名するということです。一番まずいのは小見川ロータリークラブが推薦する人とガバナーエレクトが指名した人が違い、2名が辞退してしまったということです。今現在ガバナー補佐が決まっていないのが第4グループと我が第8グループです。グループの再編とは別個の問題でガバナー補佐の選出に対してはグループに了解をとり進めるべきだったのではないのでしょうか？

漆原ガバナー

ご意見ありがとうございます。冒頭の卓話の前にも話しましたが、特にここ何年も前から話が再編の話がございました。おっしゃる通り過程というものが周知されておらず、ガバナー月信でPRをもっとしていけば良かったと反省しております。これが3年に1度がふさわしいのか、5年に1度がふさわしいのかなども年内の内にDLPで明文化したものを6月末までに全会員にお渡しする予定でございます。これは現在地区の戦略計画委員会の直轄であります、リーダー育成会議を中心に作成を進めております。今後はこのような混乱が無いように進めて参ります。次年度のガバナー補佐の選出についてでございます。私の時はロータリー歴もまだ12年でございますし、経験もあまりございませんでした。一方

梶原ガバナーエレクトは櫻木ガバナー時の地区幹事長を務められ、JC などでも広範囲で色々な方とお付き合いがあるということで 2021-22 年度から RI が義務づけた DLP のガバナー補佐はガバナーエレクトがお選びさせていただき、それを実行しようとしていらっしゃいました。しかしそれも地区内のグループの皆さんに伝達が行き届いていなかったこと、それにより従来通りお決めいただいたところに梶原ガバナーエレクトのご意向が来たものですから混乱をさせてしまったと思います。新千葉 RC の週報が出回り、強い言葉だけが一人歩きしてしまっていると感じます。梶原ガバナーエレクト自身も言葉が過ぎた部分を反省しているとおっしゃっています。その辺りはお容赦いただけたらと思います。こちらにつきましても、地区の方で統一見解をもって皆さんにご説明し脈々と続けていけたらと思います。

大塚ガバナー補佐

当クラブの協議会で聞いてほしいということが 2 点ありました。1 点目、地区大会記念ゴルフ大会が毎回月曜日なのはなぜか？ということです。2 点目は地区大会終わっての懇親会での食べ物が少ないという意見がありました。

漆原ガバナー

ゴルフにつきましては、日曜日などは色々なトーナメントなどが入り、取りずらいという事と値段が高いということです。地区大会の食事につきましては、次回大会にはたっぷりと用意をしますので宜しくお願い致します。

4. ガバナー総評

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー 漆原摂子様



長時間にわたりまして発表、ご意見ありがとうございました。また、会長からの厳しいご意見もありましたが、こういったことが 2 度とないようにしたいと思っています。何よりもクラブ協議会、笑いあり、楽しい内容を聞くことが出来て皆

さんのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

5. 謝 辞 八日市場 RC 会長 宇之沢文夫



本日は朝から長時間に渡りありがとうございました。本当に楽しい例会になりました。誠にありがとうございました。当地に宿泊していただいたそうでありがとうございました。色々問題はありますが、今後も頑張ってください。

6. 記念品贈呈

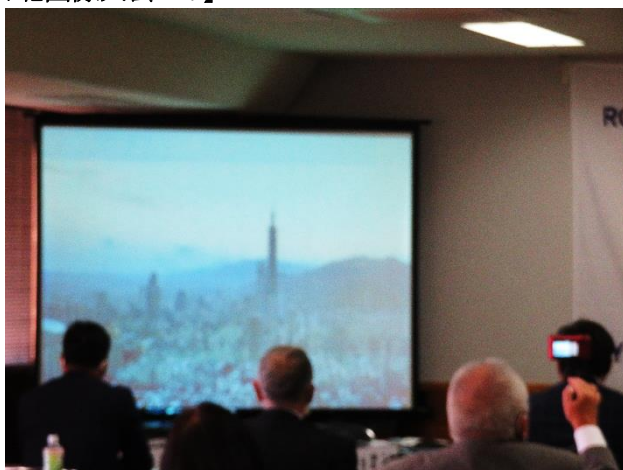


ポールハリス 5 世が手渡されました。

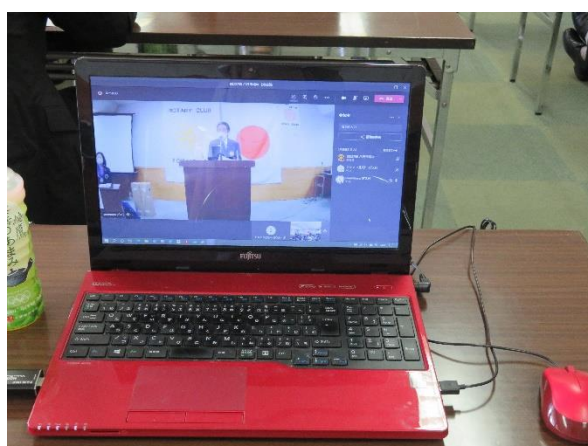


7. 閉会の言葉 旭 RC 幹事 片山慎一

【台北国際大会 PV】



【オンライン例会様子】



【本日のお弁当】

柿岡屋

